

総合的な対応力さらに強化

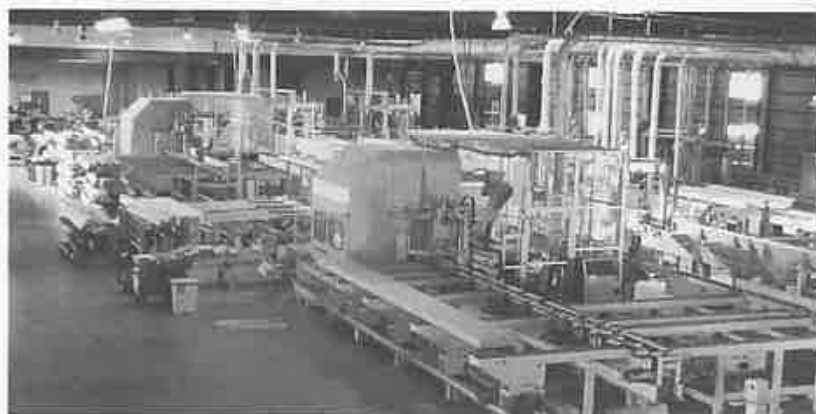
木軸パネルの新工場建設へ

スカイ

スカイ（静岡県磐田市、金澤和孝社長）は、生産効率の高いラインを活用して一般住宅から大型木造建築物まで広範な需要に対応している。2020年度の加工実績は9万坪。このうち約15%を非住宅物件が占めており、今後も比率の上昇を見込んでいる。同社は設備投資を随時実施して生産効率を高めているが、今夏以降には木軸パネル工場の建設と全自動ラインの導入を計画しており、総合的な需要対応能力を高める。

宅から大型木造建築物まで広範な需要に対応している。2020年度の加工実績は9万坪。このうち約15%を非住宅物件が占めており、今後も比率の上昇を見込んでいる。同社は設備投資を随時実施して生産効率を高めているが、今夏以降には木軸パネル工場の建設と全自動ラインの導入を計画しており、総合的な需要対応能力を高める。

同社は天竜川沿いの豊岡エリアで本社工場と豊岡太郎馬工場を、船明エリアで羽柄工場、合板工場、柱工場、金物工法専用のMF工場を運営している。付帯設備も多く、大断面材対応の特殊加工機や材料の美観を高



横架材加工ライン（豊岡本社工場）

める材表面清掃装置、000ミリ×全長14メートルの4面プレーナーにCLTや大断面材等に対しては、全自動6軸加工機（ユニチーム製）を使って、最大で材厚600ミリ×材せい3000ミリに対応することです。人的な負担を軽減している。

船明柱工場には宮川工機の全自動柱材加工機MPS-34（2ライン）及びMPS-35を導入済み。管柱、通し柱、小屋束それぞれ別の加工を専用ラインに分担させて高効率化したほか、材料投入や梱包など従業員の作業内容も専任化し、作業の安定化と効率向上を

図った。

現在の木材不足の影響については、材料の調達難から生産量を通常の半分程度に落とし、現物入荷待ちのスケジュール組み込み調整に苦労しているという。今年度の加工量の当初目標は10万坪だが、材料の供給情勢から厳しい展開を予想している。新事業では、木軸パネルを構築する予定だ。

設備投資で非住宅需要深耕

弥富・亀山の2工場体制構築

山西

山西（名古屋市長）は、総合カット事業に取り組んでいる。2020年度は、愛知県弥富市と亀山29坪（3179戸）に達した。現状は木材